

発行者：株式会社神岡衛生社 電話：0578-82-0337 E-mail：jimu@k-eisei.co.jp

輝かしき年のはじめをお祝い申し上げます

迎春



株式会社神岡衛生社
代表取締役社長 川上 幸延

みなさま新年あけましておめでとうございませう。
地域の皆さま方のご理解とご協力のお陰をもちまして、当社も一年の業務を滞りなく終了し、新しい年を迎えることができました。心から感謝申し上げます。次第です。

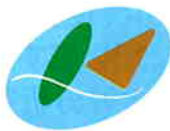
さて、昨年は衆議院選挙の結果、政権交代がなされるといふ結果になりました。今後展開されるいろいろな政策の中で、CO₂二五%の削減や、景気対策として環境に関わる分野に、精力的な取り組みがなされることが予想される状況となっております。

当社も、地域で活動する一企業として、お客さまに満足していただける技術とサービスの提供は勿論のこと、素晴らしい自然を後世に遺すため、新たな環境整備の業務に取り組んで参る所存でございます。

この「かんきょう高原いんぷお」も、発刊以来八年を迎えますが、誠に有難いことに、各方面から好評をいただいております。環境に関わる事例の紹介や情報の提供、その他の分野につきましても積極的に住民の皆さま方にお伝えして参りたいと思っております。本年も何卒ご愛読下さいますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、今年もまた皆さま方にとりまして、より良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

お気軽にお問い合わせ下さい。



株式会社 神岡衛生社 TEL0578-82-0337
FAX0578-82-5846

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ（一般家庭・事業系）
 - 産業廃棄物収集・運搬
 - 浄化槽清掃
 - 浄化槽保守点検
 - 浄化槽工事
 - 上下水道設備工事
 - 下水道施設維持管理（終末処理場・管路）
 - 衛生設備維持管理
 - ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
 - リースキン代理店
 - 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
 - 環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。

URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

新年あけましておめでとうございます

営業課

昨年4月より正式に営業課が立ち上がり、ようやく1年が過ぎようとしています。慣れない中で、リースキンの商品も取り扱うようになりました。皆様にはリース契約を賜り、ほんとうに有難うございます。

事業所や、家庭を訪問させていただいている中で、まだまだ当社の事業内容が周知されていないことに気付きました。

営業人員3名という人数で、契約をとれるよう努力すると共に、事業内容を周知して戴けるよう、課員一同がんばります。

本年もよろしく願いいたします。

廃棄物1課

私たち廃棄物1課は、飛騨市・高山市の委託を受けて、一般廃棄物(可燃ゴミ・不燃ゴミ)の収集を行っています。

昨年は、住民の皆さま方には分別収集にご協力をいただき、有難うございました。

分別収集は環境衛生やリサイクルへと、一人一人の協力が大きな成果へと繋がっていきます。

住民の皆さま方みんなで、また私たちもお手伝いさせていただきながら、きれいな環境づくりに努めていきましょう。

本年もよろしく願いいたします。

メンテナンス課

私たちメンテナンス課は、浄化槽並びに下水道終末処理場の維持管理を中心に、貯水槽清掃や排水管洗浄など、水環境に係わる業務を行っております。

また、昨年より、お墓の清掃も始めました。どんな仕事でも「お客様が第一」を合言葉に、すばやい対応、技術とサービスの向上に努めてまいりますので、本年もよろしく願いいたします。

分析課

分析課は、飛騨地域の下水道施設の放流水や、浄化槽、工場からの排水、貯水槽の飲料水、温泉成分などの水質分析を行っています。

水環境を守るために、使った水は、きれいな水に処理して川に戻すことが必要です。私たちは、『水質分析を通じて地域の水環境を守る』を信念として、業務に邁進して参ります。

本年もよろしく願いいたします。

設備課

昨年も多くのお客様に工事発注を承り、心より感謝申し上げます。

設備課では、日常生活で欠かせない給水・排水工事や下水道へのつなぎこみ工事など、水まわりの修繕や新設工事などを行っております。一人一人がレベルアップをはかり、お客様に満足していただけるよう日々努力していきます。

今年も、下水道が供用開始になる地域があります。つなぎ込み工事や、増改築などの予定がございましたら、ぜひ当社をご用命くださいますよう、よろしくお願いいたします。

業務課

私たち業務課は、従来のし尿の汲み取り、浄化槽の清掃に加えて、汚泥の脱水作業・運搬また、ダンパー作業の仕事も始めました。

これからも、お客様のご要望にお応えしながら、計画的かつスムーズに作業を進め、満足していただけるよう課員一同一致団結し、一生懸命努めてまいります。今後共よろしくお願いたします。

廃棄物2課

私たち廃棄物2課は、事業所のごみ収集、家屋解体や改築時・引越し時に不要になった家財の処理、粗大ごみの回収をしております。

皆様に安心して使っていただけるように課員一同頑張りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務管理課

私たち事務管理課は、お客様と現場を結ぶ窓口として、お電話や来社いただいた際に、よりよい対応ができますよう心がけていきたいと思っております。

皆さまからのご意見・ご要望が私たちの糧となります。「こんなことしてもらえるかな?」「これはどうにかならんかな?」などお気軽にお問い合わせ下さい。

本年もよろしくお願いいたします。



しあわせになる条件 その14

新年明けましておめでとうございます。

“永遠なるものを求めて、永遠に努力する者を菩薩という”故薬師寺管長の高田後胤氏の言葉です。本年も永遠のテーマである『しあわせになる条件』を、皆様とご一緒に考えていきたいと願っております。

「仕事は、やむを得ない場合を除いて変えないほうがいいですよ、転職の相談をもちかけられたら、必ずそう助言してあげているんです。何故って、私自身が若いころ4回転職し、その都度、前職の方がよかったと後悔したからなんです。思えば、そのたびに振り出しに戻って、一からやり直さなければならなくて、ずい分後れを取ってしまいました。」髪に白いものが

まじり、ほほえみの絶えない柔和な顔には深いしわが刻まれており、彼の歩んできた道のりの陰しさが、私にも伝わってきました。4度目の転職をしたときは、もう30代も半ばを過ぎており、予想もしていなかった雪や雨の中での外仕事を命じられ、それはそれは厳しく、何度もくじけそうになったそうです。「でも、ここで辞めてしまっ



ても、ここで辞めてしまっただけと、歯を食いしばってやり続けたおかげで、今は、中学しか出ていない自分だけけど、こうして身に余る重要なポジションを与えられ、本当にありがたいことです。』『そうだったのか』彼のにじみ出るような優しさが、一体どこから来るものなのか不思議に思っていた私は、大きく心の中でうなずきました。彼とは二年にわたって、スタッフ研修を賜っているクライアント企業の担当部長として、数度お会いしましたが、あたたかく人を包み込むような優しさと変わらぬ謙虚さが心地よく、又お会いしたくなる方のお一人でした。今回も、同行しているスタッフの都合が悪く、「私一人で参りますから」と申し上げたところ、「では、私がお迎えに参ります。」と気軽におっしゃって頂き、いたく恐縮したと同時にすっかり感激してしまったのでした。

謙虚であり続けること、相手の立場に立って考え続けることは、ともにたいへん難しいことです。本来人間は、なんと自己チューであり、傲慢な度し難い生き物であろうかと、我が身が恥ずかしくなることがあります。「お互いを大切にして、初めて人間になる」日本語の人間の解釈に、そう記してあります。どんなときも、謙虚に相手のしあわせを願う菩薩行を続けていきたいものと年頭に当たり深く心に刻み込んでおります。



尾山敦子
キャリアカウンセラー

も思いを繰り返すだけと、歯を食いしばってやり続けたおかげで、今は、中学しか出ていない自分だけけど、こうして身に余る重要なポジションを与えられ、本当にありがたいことです。』『そうだったのか』彼のにじみ出るような優しさが、一

新型インフルエンザ

川村 和夫先生
(弁護士)
名古屋市在住

新型インフルエンザの正体もどうやら見えてきたように思われる。厚生労働省がワクチンの接種は1回で有効だと発表したからである。それは、私の抗原抗体反応の知識によると、既に類似のものが体内に侵入したことがあることを意味しており、新型インフルエンザは、全くの新顔ではないことが推測できるのである。

それは、若年層の被害は小さくない、ということであるし、体力のない者、老人層にとっても侮れないということに変わりはない。つまり、油断は禁物ということではあるが、新型インフルエンザの登場が、あまりに鳴り物入りであったので、やはり、少々ほっとするところはある。

突然変異ということがあるにせよ、それも含めて、変化というものは原則的に連続的なものなのであろう。他方、変化するというのもまた、原則的に継続的である。それは、病原菌にも人体にも言えることである。病原菌による人体への攻撃と、免疫システムによる防禦という戦いは、変化しながら、人類の存在する限り続いていくのかもしれない。

漠然とであるが、免疫の力を低下させるのは、過度の肉体疲労と一定以上の精神疲労だと思っている。肉体疲労に対する対処は分かりやすいが、精神疲労に対する対処はたやすくはない。心



にも免疫システムがあるとよいのだが、むしろ心の傷によるアレルギー症状へ向かうことの方が多いようである。

私の人生の中で、一番大きな社会の変化として感じるのは、通信手段の変化、携帯電話とパーソナルコンピュータの普及による変化である。これは、人間関係の在り方自体を変える程の大きな変化であったと思う。私自身は、今のところ、それらから逃避する傾向にあるが、社会全体としては、もうこれ無しには存在できないようになっている。この社会の変化が作り出した、新型精神疲労による様々な現象について、適切な対応は人々にとってまだ明らかでない。

その答えは、きっと古典の中にあると思うが、結局のところ温故知新という、2000年以上前の偉い人の言葉に行き着くのであろうか。

環境ニュースあれこれ

近年、環境に関する話題がとみに多く報道されるようになってきました。
新年にあたり、三つほど並べてみます。

地球温暖化の現状

9月の国連気候変動ハイレベル会合で演説した鳩山総理は、日本は温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減するとの中期目標を表明しました。このことはテレビや新聞で大きく報道され、世界各国から概ね高い評価を得ています。

しかし、この数値目標を実際に達成するための具体策は詳細に詰められておらず、数値目標のみが一人歩きしている観もあります。

産業界からは、国内の製造業に重い足かせをはめることとなり、競争力を削ぎ、結果として国内産業の空洞化を招くものとの反発も上がっており、先行きは不透明なままです。

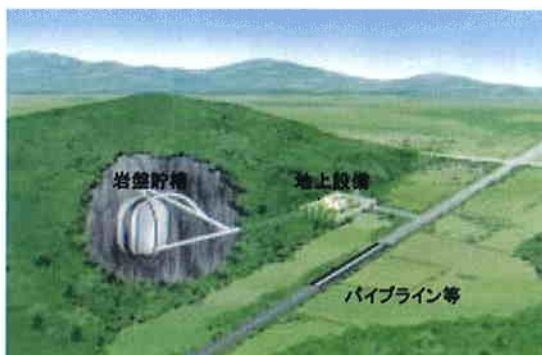
12月7日～18日にコペンハーゲンで開かれた気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)でも、先進国と途上国が激しく対立し、政治合意としての「『コペンハーゲン協定』に留意」との表現で、ようやく承認されました。採択よりも拘束力が弱く、協定に賛成する国だけが合意に縛られることとなります。また京都議定書で定められていない2013年以降の枠組みについては、今年11月にメキシコで開かれるCOP16に先送りとなりました。

そもそも、CO₂が温暖化の原因ではなく、温暖化の結果としてCO₂が増加しているのだとの議論もあり、京都議定書での基準年度の設定に政治的な思惑が透けて見えるなど、CO₂削減を錦の御旗にする風潮には、やや危うさを感じます。

しかし、数値目標は別として、資源枯渇の面からも、子孫の代に持続可能な地球環境を残していくために、化石燃料の使用を削減していくことが必要であることは間違いありません。

モットイナイ精神のもとに、身近なところから無駄をなくすことに取り組んでいくことを、年の初めに当たって、新たな誓いにしたいと思います。

次世代天然ガス高压貯蔵技術開発と神岡



地球温暖化を防ぐために温室効果ガスの排出をどうやって減らすのかが活発に議論されています。天然ガスは、比較的多くの埋蔵量が確認されていること、また、石油と比較してCO₂などの排出量が少ないことから、温暖化防止に向けて天然ガスへの期待は極めて大きく、我が国において地盤内への天然ガスの貯蔵は将来的に必要となる技術とされています。

平成16年度から平成19年度まで、神岡町茂住地区鉾山茂住坑道において、既設坑道部から試験用の空洞を新たに掘削し、実証試験を行っていました。これは、「次世代天然ガス高圧貯蔵技術開発補助事業」として、経済産業省の1/2 補助のもと、(社)日本ガス協会が事業主体となり、東京ガス、清水建設・大林組・大成建設等民間企業12社が協力して、要素研究、実証試験設備の設計・建設などが実施されたものです。神岡でこのような世界的な実証試験が行われていたことをどのくらいの人知っていたでしょうか？

技術開発事業の概略行程

技術開発項目	16年度	17年度	18年度	19年度
①要素研究				
1) 気密構造の設計技術	←————→			
2) 高性能プラグの設計技術	←————→			
3) 省エネルギー型運用	←————→			
②実証試験				
1) 調査・設計	←————→			
2) 実証試験設備の建設・撤去	←————→			
3) 実証試験の実施		←————→		
③実機の試設計			←————→	
④技術基準規定の試案	←————→			
⑤総合評価				←————→

本技術開発では、貯蔵施設として国内でははじめて実証試験設備の設計・建設・試験が確実に進められることを実証し、有益な知見を得て終了したと言われているため、今後の進展が楽しみです。

都市鉾山と携帯電話

「都市鉾山」といっても、都市の中に鉾山があるわけではなく、ゴミとして大量に廃棄される家電製品の中に存在する有用な資源を鉾山に見立てています。

これらの中には、リチウムやコバルト、プラチナなどのレアメタル(希少金属)が含まれています。機器の性能向上や小型化に欠かせない金属で、その中でも特に携帯電話には多くのレアメタルが使用されています。しかし、日本には使用されなくなった携帯電話が約3億台家の中に眠っているとも言われています。

これを効率的に回収しリサイクルするために、経済産業省は「たんすケータイあつめたいへん(仮)」キャンペーンを昨年の11月21日から本年2月28日までの間行っています。使用済み携帯電話を全国の家電量販店・総合スーパーなどに持ち込めば、商品券(最高5万円)が当たる抽選に申込み応募券と引き換えができます。

使用していない携帯電話をお持ちの方は、この機会にこのリサイクルに協力されてみてはいかがでしょうか。



詳しくは経済産業省「公式ホームページ」<http://tansu-keitai.jp/>をご覧ください。

長良川的环境 5



粕谷 志郎 (かすやしろう)

岐阜大学地域科学部教授 医学博士

海が森を養う?



川は上流から下流に流れながら、多くの生態系を育みます。川へ流される有機物の多くは落葉です。この落葉を虫やバクテリアが食べて食物連鎖が始まります。谷からは磷やカリウムなどの無機物も川へ溶け出します。藻類がこれらを利用し、魚がさらにこれらを食べて生育します。一方、この逆に、海の成分が森を潤すことが分かってきました。海から川をさかのぼって森に達する。そうです、川を上る回遊魚がその役割を果たします。大量に遡上する鮭を熊などの野生生物が捕り、これを森へ運びます。川幅一杯になって遡上する鮭も、産卵、受精後死に、森の食物連鎖に加わります。こうして、海の生き物が森を豊かにします。このような恵みのある森の木の年輪の幅は、無い森の二倍以上にもなります。また、微量な元素の分析から、木の中に海の成分が取り込まれていることも証明されています。カナダ・ビクトリア大学のトム・ライムヘン教授の講演を数年前に始めて聞きましたが、大きな驚きでした。その後、同様な報告が日本でもされ始め、回遊魚が上る川では当たり前存在する事実と認識されてきました。ダムや堰がこうした上下の循環を妨げていることは疑う余地がありません。こうした観点からの見直しも必要のように感じます。

炭素や窒素は空気中と生物の間で循環します。生き物が朽ち果てたり、燃えたりしますと空気中へ戻されます。これを再び生き物が吸い、体を造ってゆきます。ところが、磷やカリウムなどは一方通行です。生き物の間では行き来し、循環もしますが、基本的には、山から流れ出て、最後に海へ行っておしまいです。このため、磷肥料はあと百年程度しかもたないとの試算もあります。磷肥料が無ければ、農作物は今のように沢山できません。人口も支えきれなくなります。そうすると、海の恵みを山へ戻さなければなりません。鮭に頼れる量ではありません。ここで登場するのが、水生バイオマスです。ジャイアントケルプやアマモなどを積極的に近海で栽培し、必要な物質やエネルギーを取り、灰を田畑へ戻すのです。水生バイオマスは陸生に比べ灰分(無機物)が多いことが知られています。人間による「海が山を育てる」循環ができあがってゆきます。